『まなび』

松永地域振興課　生涯学習情報紙　２６４号

２０２４年　令和６年　　８月１日発行

問合せ先　松永地域振興課

住所　福山市松永町三丁目１番２９号

電話　０８４－９３４－５４４３

メールアドレス　matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



松永楽座

202４年度ふくやま　まちづくり大学

参加者募集



まちづくりシンポジウム　エリアマネジメント　地域に応じた地域経営・協働のまちづくりを考える

日時　８月１８日日曜日　１０時から

場所　西部市民センター５階多目的室

サポーター　福山市立大学都市経営学部　岡辺　重雄教授ほか

電話　０８４－９３４－５４４３

問合せ　matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



話合いをもとに考えるワークショップ　哲学カフェ　普通ってどういうこと？

日時　９月２１日　１１月１６日　２月８日　全日土曜日　１０時から

場所　西部市民センター５階大会議室

ファシリテーター　福山平成大学福祉健康学部　上村　崇教授

電話　０８４－９３４－５４４３

問合せ　matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



獣害対策をサポート！現状と対策について

日時　９月２７日金曜日　１９時から

場所　西部市民センター５階大会議室

講師　福山市農林水産課職員

電話　０８４－９３４－５４４３

メールアドレス　matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



戦後７９年　平和を紡ぐ

１９４５年８月６日、ヒロシマへ、８月９日、ナガサキへ世界で初めて原子爆弾が投下され、一瞬にして何十万人もの尊い命が犠牲となり、何の罪もない多くの人々が被災しました。原子爆弾の破壊力は、想像を絶するものでした。８月８日には、福山にもＢ２９爆撃機により焼夷弾が投下されました。この空襲により福山の中心地は焼野原と化し、街や家を焼かれ、３５５人の命が犠牲となりました。

二度と同じ過ちを繰り返すまいと誰もが誓ったあの日から、７９年の年月が経ちました。今もなお被爆の後遺症や戦争被害に苦しんでおられる方も数多くいます。７９年たった今も、世界の各地で戦争や紛争が続き、幼い子どもたちや多くの市民の命が奪われています。被爆や空襲の実相は、経験や体験をしていない私たちにはわからないことかもしれません。

７９年経った今、被爆された方や、戦争体験者も数少なくなり、実相を聞くこともできなくなりつつあります。だからこそ、今私たちにできる「平和を紡ぐ」活動を考えていくことが大切だと思います。この時期、各地で「平和を考える」講演会や映画会、コンサートや絵本の読み聞かせなど開催されています。若い世代が、戦争体験を語り継ぐ活動、絵画に残す、絵本の制作などもあります。それぞれが、さまざまな形で今できることを考え、行動していくことで「あの日を忘れない、平和を紡ぐ」活動につながっていくのではないでしょうか。



２０２４　市民平和のつどい　第７０回市民平和大会

今年は、会場を変更して、内容も参加型にリニューアル！！

１９４５年８月８日の「福山空襲」を心にとめ、平和の大切さについて考えます。

今年は「参加型」！「発表の場」であり、「学びの場」　思いを伝え、みんなの気持ちがつながっていきますように

日時　８月８日　木曜日　１３時～１６時

場所　まなびの館ローズコム（福山市霞町一丁目１０番１号）

内容

オープニング　ひとり一羽披露　平和非核都市福山宣言　紙芝居「母と子の八月八日」読み語りと歌

平和の思いを紡ぐメッセージの発信（動画）　児童、生徒の学習発表　語り部による戦争体験談

絵本の読み聞かせ

映画上映

体験コーナー　平和カルタ、ジャンボ折り鶴、灯ろう作り

その他　スタンプラリー、まちパス対象事業

入場料　無料

問合せ　福山市多様性社会推進課　電話　０８４―９２８－１２３５



情報びっくり箱

各交流館のイベント　講座や交流館だよりは、市ホームページの各交流館のページからいつでも、どこでも確認することができます。

藤江交流館　９３５－７４０１

社会教育活動事業　イルミネーションの飾りを作ろう　ペットボトルでランプシェード

日時　８月２６日月曜日　１３時３０分から１５時

ところ　藤江交流館　２階大会議室

内容　講義と実技

対象者　どなたでも

講師　織田　尊恵さん

定員　１０人

申込み　８月２３日金曜日まで

申込み　問合せ　藤江交流館へ

神村交流館　９３３－２９１３

地域まちづくり推進事業　子ども映画まつり「ＦＬＹ！フライ！」映画鑑賞

日時　８月１０日土曜日　１回目１０時から　２回目１３時から

ところ　神村交流館　２階会議室

内容　映画鑑賞

対象者　どなたでも

定員　各回４０人

　　　申込み　７月１日月曜日から受付中

申込み　問合せ　神村交流館へ

松永図書館　９３３－３７７０

謎解きイベント「しかけを見抜け！なぞを解け！」

日時　７月１７日水曜日から９月１日日曜日

ところ　松永図書館

内容　小学生からおとなを対象にした謎解きイベント。図書館内にしかけられたヒントをもとに、答えを導き出す。参加者１００人（先着）に景品あり。

「ＳＤＧｓな工作教室　ミラクルカードをつくろう！」

日時　８月１０日土曜日　１４時から１５時

ところ　松永図書館　集会室

内容　アクリルシートのきれはしを材料にして作る「しかけカード」の工作と、絵本の読み聞かせ

対象　小学生

申込み　７月２０日土曜日　１０時から

展示「アンネのバラとローズマインド」

日時　８月２１日水曜日から９月１６日月曜日

ところ　松永図書館　展示コーナー

内容　ホロコースト記念館の大塚理事長のシナリオをもとに、福山市立幸千中学校の美術部が作成した、アンネのバラとローズマインドに関する作品の展示

「さくっと借りてラクラク　にっこり　絵本のセット貸出し」

日時　８月２１日水曜日から９月１６日月曜日

ところ　松永図書館　展示コーナー

内容　司書セレクトのおススメ絵本を２冊１セットにして貸出し

対象　乳幼児・児童とその保護者

展示「図書館で知ろう認知症　認知症になっても自分らしく暮らせるために

日時　９月１８日水曜日から１０月１４日月曜日

ところ　松永図書館　展示コーナー

内容　若年認知症の当事者からのメッセージや相談窓口をパネルで紹介します。あわせて、介護に役立つ福祉用具の展示と関連本約６０冊の貸出し

＜定例行事＞

あかちゃんといっしょのおはなし会

日時　８月１４日水曜日　１５日木曜日

　　　９月１１日水曜日　１２日木曜日

　　　　　１１時から１１時１５分

内容　乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会

土曜日のおはなしのじかん

　日時　毎週土曜日　１５時から１５時１５分

　内　容　幼児　児童とその保護者を対象にしたおはなし会

　　　図書館のお休み　８月２０日火曜日　９月１７日火曜日



　まちづくり大学　松永楽座を開催しました

　７月６日土曜日　１０時から１２時まで

　話し合いをもとに考えるワークショップ　哲学カフェ

　福山平成大学福祉健康学部　上村崇教授を講師に哲学カフェまつながを開催しました。

　哲学カフェとは、気軽にお茶でも飲みながら「一つのことについて、みんなで話し合う」ことです。他者との対話で自分とちがう考えを知り、自分の考えを深めていきます。

　今回のテーマは「ともに生きる」でした。それぞれ生活の中での思いなどを話し合い、いろいろな気づきがありました。次回のテーマは「普通ってどういうこと？」です。

７月６日土曜日　１３時から１４時まで

地域のデジタル化をサポート　ＬＩＮＥ講座

福山大学プログラミングサークルのみなさんを講師にＬＩＮＥ（オープンチャット）講習会を開催しました。

　ＬＩＮＥやオープンチャットの機能について説明を受けた後、グループごとにスタッフが作ったオープンチャットに参加して、オープンチャットを実際に使ってみました。それぞれが投票を作り、お互いに投票してみたり、写真を撮って送ったり送られた写真の保存方法も教わったりと、楽しく学ぶことができました。、



性の多様性に関するパネル展

日時　　８月１７日土曜日から９月１日日曜日

ところ　西部市民センター１階　エントランス

みなさんは「ＬＧＢＴ（エル　ジー　ビー　ティー）」という言葉を聞いたことがありますか？

「Lesbian（レズビアン）」「Gay（ゲイ）」「Bisexual（バイセクシャル）」「Transgender（トランスジェンダー）」の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的マイノリティをあらわす言葉の一つとして使われています。その他にも、多種多様なセクシュアリティ（性）が存在します。

まずは、性的マイノリティのことを知ることから始めてみませんか。



視覚障がいなどの理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。